

2019年4月26日

## 「第5回介護食品・スマイルケア食コンクール」 高齢者施設向け食品「パン粥」が審査委員長賞受賞

SOMPOケアフーズ株式会社（代表者：森脇 憲一郎、以下「SOMPOケアフーズ」）は、2019年3月19日に開催された「第5回介護食品・スマイルケア食コンクール」において、「飲み込むことに問題がある人（嚥下困難者）向けの食品部門」の審査委員長賞を受賞し表彰されましたのでお知らせします。

### 1. 「介護食品・スマイルケア食コンクール」とは

介護食品・スマイルケア食コンクールは、噛むこと、飲みこむことが難しい方々の食品だけでなく、低栄養の予防につながる食品、日々の生活をより快適にする食品として、幅広い方々にご利用いただけるよう、介護食品の品質向上、介護食品市場の拡大を目的として、日本国内で販売されている介護食品もしくは同様の機能性を持つ食品を広く募集し、厳正な審査の上すぐれた商品を表彰するものです。

第5回目となる今年のコンクールでは、全5部門で61社104商品の応募があり、メーカーや卸売業などで介護食品に携わる22人の審査員の試食による第1次審査を経て、33商品が第2次審査に選出されました。第2次審査では、産学から広く選定された専門家11人で構成する審査委員会による試食・審議を経て、農林水産大臣賞をはじめとした各賞の受賞作品が決まりました。

受賞商品は、4月17から19日までの3日間、東京ビックサイトで開催された「第22回ファベックス2019」にて実物展示され、18日に同会場で表彰式も行われました。



### 2. 受賞商品と受賞理由について

SOMPOケアフーズが審査委員長賞を受賞したのは、自社開発した少量高カロリー商品「パン粥」です。

高齢者施設で、飲み込みが困難な方に提供されている主食は全粥やミキサー粥が一般的ですが、パン食を習慣としている方も少なくありません。「パン粥」は、そのような方が毎日おいしく召し上がりながら、必要なエネルギー量も確保できる食品として開発されました。

高齢になると、噛む力や飲み込む力が弱くなることに加え、食欲や味覚も低下し、低栄養に陥りやすいと言われています。全粥お椀一杯（250g）で180kcal



を摂取できますが、飲み込みが困難な方や食欲が衰えている方の場合、完食までに長い時間を要する、または完食できないなどして、効率的にエネルギーを摂取することができません。この「パン粥」では、わずか100gで全粥お椀一杯分と同じ180 kcalのエネルギー摂取することが可能であり、ジャムなどで味の変化を楽しみながら、摂取カロリーを追加することも容易です。

同コンクールにおいては、「パン粥」のおいしさ、そして少量で効率的に必要なエネルギーを摂取できることが高く評価されました。

### 3. 今後について

SOMPOケアフーズは、今後ご利用者さまの生活の質の向上につながり、いつまでも口からお食事を楽しんでいただけるように、お一人おひとりに「おいしい」と感じていただける安心・安全・健康につながる商品開発に向けて努力を続けていきます。

コンテスト主催者サイト：[http://www.fabex.jp/news/carefood\\_2019prize.html](http://www.fabex.jp/news/carefood_2019prize.html)